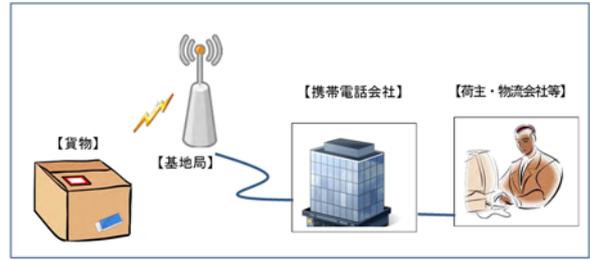


基本情報	
企業名	ジェネシス株式会社
技術・製品	<p>製品 第二世代携帯電話(2G)企画を採用し、携帯電話のSMSを活用して、貨物の位置情報を荷主等の関係者に送信するシステム(ATS(Article Tracking System: 貨物トラッキングシステム))</p> <p>◇ 特徴は、①既存の携帯電話基地局情報の利用により、簡易に位置情報を収集可能、②旧式の技術活用において端末のコストダウンを実現、③人を介さないので人為ミスが発生しない、④GPS 機器と比べ消費電力が少ないためバッテリーが長持ちする</p>
導入によって期待される効果	<p>物流における荷物・貨物の紛失や盗難、遅配に対し、荷貨物をトラッキングして原因を特定することでこれら課題の解決を図るとともに、位置情報を提供することにより顧客サービスの向上が期待できる。</p>



調査概要	
対象国・地域	インド(主としてデリー近辺)
スキーム・公示年度	JICA「案件化調査」/2014 年度(平成 26 年度)
事業名称	携帯電話基地局情報を利用した貨物トラッキングシステムの案件化調査
共同提案者	株式会社浜銀総合研究所/株式会社ワールドビジネスアソシエイツ
背景	<ul style="list-style-type: none"> ➢ トラッキングシステム端末が、数年前に比べて安価になった。 ➢ 自動車輸送における課題としては、道路や内陸保税倉庫(ICD)等の未整備に伴う慢性的な渋滞や貨物の破損に加え、自動車運送業者の約3分の2を占める中小零細企業の不十分な輸送管理により、遅配や紛失等の問題が頻発している。 ➢ 鉄道による輸送においては、運行管理システムや保安システムが未整備なため、貨物輸送の定時制等が確保されておらず、自動車輸送と同様の問題が生じている。 ➢ こうした問題は、現地企業のみならず、インドに進出している製造や流通関係の日系企業においても深刻な事態として認識されている。 ➢ 価格は高くても「早く届けたい」、「確実に届いたかどうか確認したい」というニーズが増えていることが推察される。 ➢ 郵政局では近年の高付加価値商品の頭打ち、採算が合わないコスト構造等からは、民間の物流事業者との競争優位を持ち、適正な費用の商品が提供できないことが推察される。
調査概要	<ul style="list-style-type: none"> ➢ ATSがインドにおいて実際に事業化できること、ODA化と同時に民間のニーズがあることを検証した。 ➢ そのために、事業に関係する機関におけるヒアリング調査、ATS端末の動作実験等を行った。
調査結果	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 現状、上記のようなシステムや技術がインドには無いため、国営、民間を問わず、市場のニーズは非常に大きく、モニタリングの改善や、顧客が満足する仕組みに大きく寄与することが期待される。 ➢ 人為作業によるバーコード添付、読み取りがないため、ミスがないと言うことが先方のニーズに大きく合致。 ➢ 一方、コスト面、エネルギーハーベスト(端末の電源をどのように得るか)の観点が課題。